

第3期天草市牛深地域まちづくり計画

～地域資源を活用して出来ることから始めよう～

天草市 牛深地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	初版

第3期天草市牛深地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	牛深地域の概要	3～6
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～6
3	計画の基本方針	7
3.1	計画の基本理念	7
3.2	部門方針	7
4	分野別行動計画	8～15
4.1	産業経済部門	8
4.1.1	特色・課題	8
4.1.2	具体的な振興方策	8
4.2	観光・文化部門	9
4.2.1	特色・課題	9
4.2.2	具体的な振興方策	10
4.3	地域振興部門	11～12
4.3.1	特色・課題	11
4.3.2	具体的な振興方策	11～12
4.4	教育部門	12
4.4.1	特色・課題	12
4.4.2	具体的な振興方策	12
4.5	保健・医療・福祉部門	13
4.5.1	特色・課題	13
4.5.2	具体的な振興方策	13
4.6	生活環境・防犯防災部門	14
4.6.1	特色・課題	14
4.6.2	具体的な振興方策	14

4.7	計画の推進体制	15
4.7.1	実施	15
4.7.2	評価・改善	15
5	地域別計画	16～35
5.1	牛深地区振興計画	16～19
5.2	久玉地区振興計画	20～23
5.3	深海地区振興計画	24～27
5.2	魚貫地区振興計画	28～31
5.3	二浦地区振興計画	32～35

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

本市は、平成18年3月27日の2市8町合併以降、まちづくりの基本理念に「日本の宝島“天草”の創造」を掲げ、その実現に向けてまちづくりを行ってきたところです。

また、本地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本地域においては、人口の急速な減少や地域経済の疲弊、さらには、雇用機会の不足や少子高齢化への対応など、多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化に伴い、地域住民1人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、まちづくりをめぐる諸課題に体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市牛深地域まちづくり計画」を策定し、急速な人口減少に対応するとともに生きいきとした個性あるまち“牛深づくり”を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市牛深地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

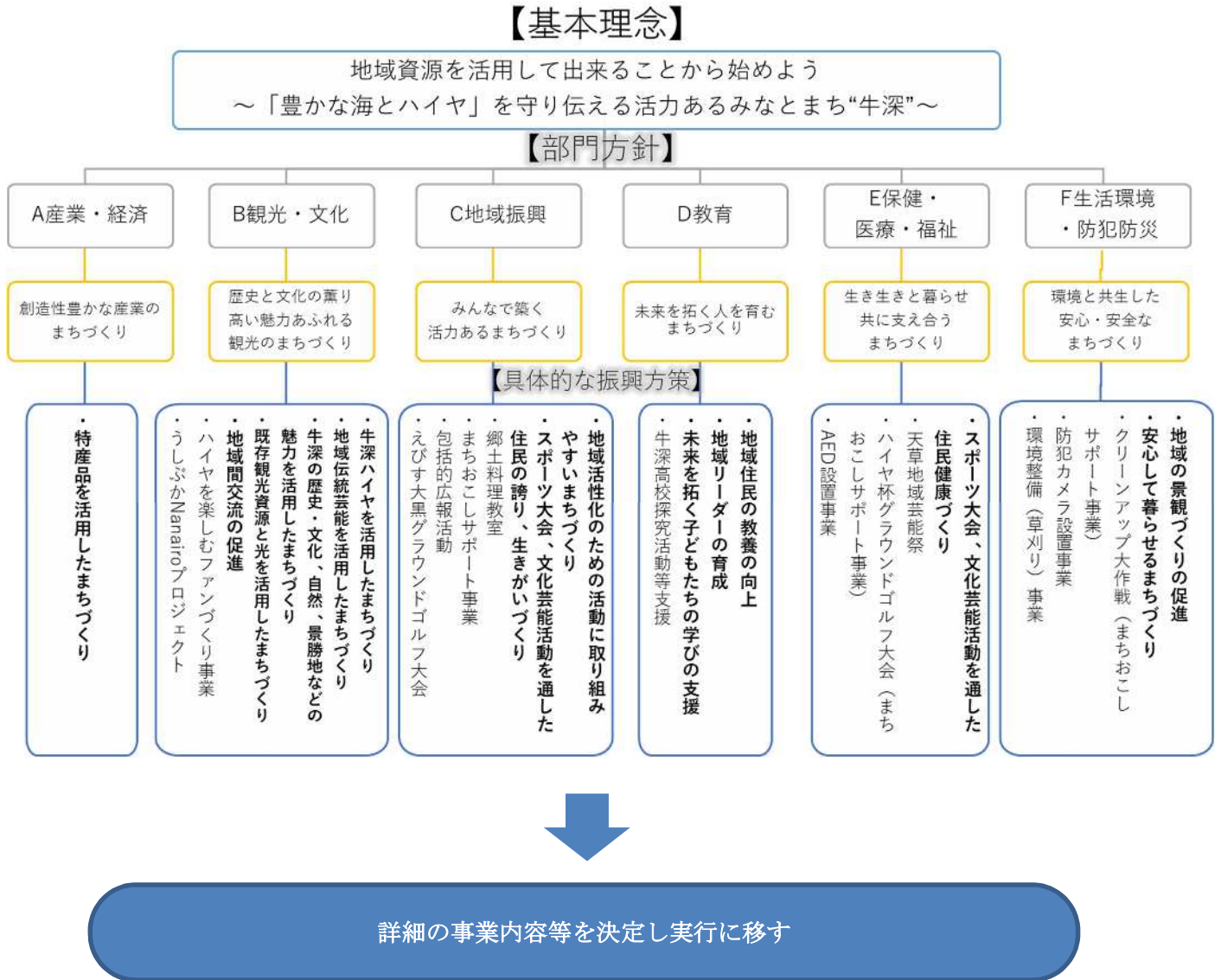
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市牛深地域まちづくり計画の方策の体系



2 牛深地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、牛深町・久玉町・深海町・魚貫町・二浦町の5つの町で構成され、本市の南端に位置します。周囲を海に囲まれ、中世より南蛮貿易、海運業の隆盛とともに中継寄港地として繁盛を極めてきました。近代では、東シナ海の豊富な海洋資源に恵まれたことから、イワシの水揚げ高で全国2位になるなど漁業の本拠地として発展し、熊本県最大の漁業基地となっています。また、中継寄港地として繁盛を極めた時代から謡われている民謡「牛深ハイヤ節」は全国に多くあるハイヤ系民謡の源流としても有名です。

図2 牛深地域位置図



国土地理院ウェブサイトより

2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は89.96km²で、市面積の13%を占めています。土地利用については、全体の約83%を農地山林で占めており、宅地道路用地については約10%となっています。

表1 面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	牛深地域	天草市
面積 (K m ²)	89.96	683.82
割合 (%)	13.1	100

(国土地理院九州測量部)

2.3 人口・世帯数

表2 牛深地域の人口、世帯数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年	2010 (平成22)年	2015 (平成27)年	2020 (令和2)年
人口	16,609	14,669	13,031	11,313
世帯数	6,719	6,266	5,852	5,344
世帯当たり人員	2.47	2.34	2.23	2.12

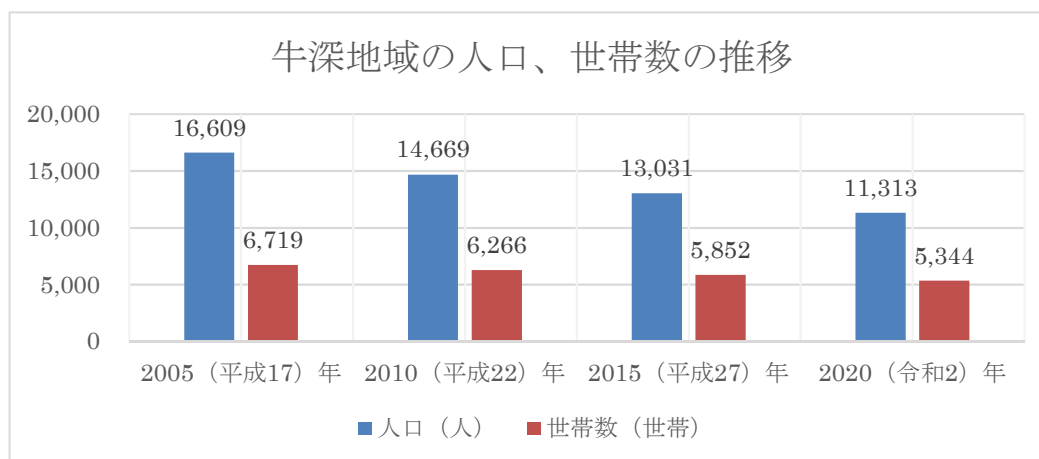


表3 牛深地域の年齢階層別人口の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
総人口	16,609	100%	14,669	100%	13,031	100%	11,313	100%
0～14歳	2,206	13.3%	1,585	10.8%	1,179	9.0%	908	8.0%
15～64歳	8,870	53.4%	7,621	52.0%	6,255	48.0%	4,821	42.6%
65歳以上	5,533	33.3%	5,449	37.2%	5,597	43.0%	5,576	49.3%
年齢不明	0	0%	14	0.1%	0	0%	8	0.1%

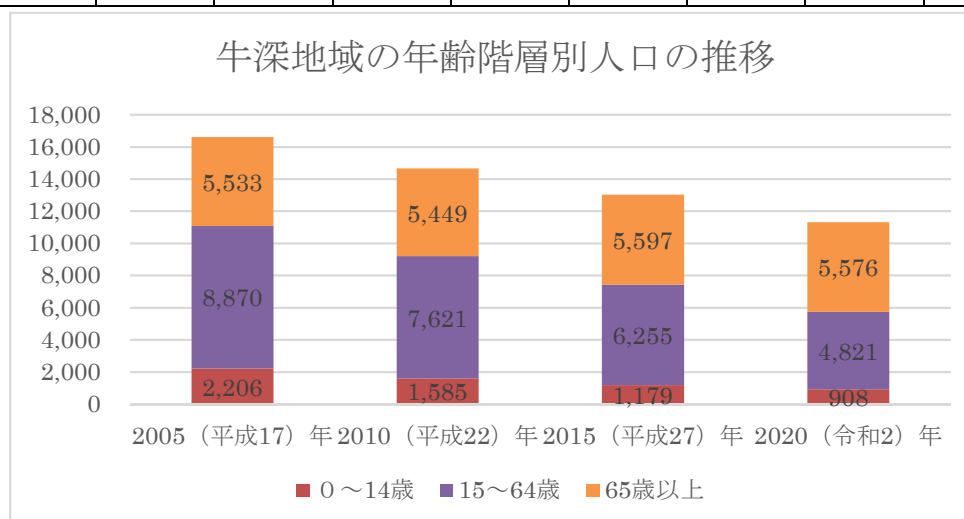


表4 牛深地域の年齢階層別将来予測

(国勢調査結果を基に天草市で算出)

	2025 (令和7)年		2030 (令和12)年		2035 (令和17)年		2040 (令和22)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
総人口	9,719	100%	8,232	100%	6,824	100%	5,515	100%
0～14歳	673	6.9%	508	6.2%	378	5.5%	277	5.0%
15～64歳	3,693	38.0%	2,857	34.7%	2,247	32.9%	1,743	31.6%
65歳以上	5,353	55.1%	4,867	59.1%	4,199	61.5%	3,495	63.4%

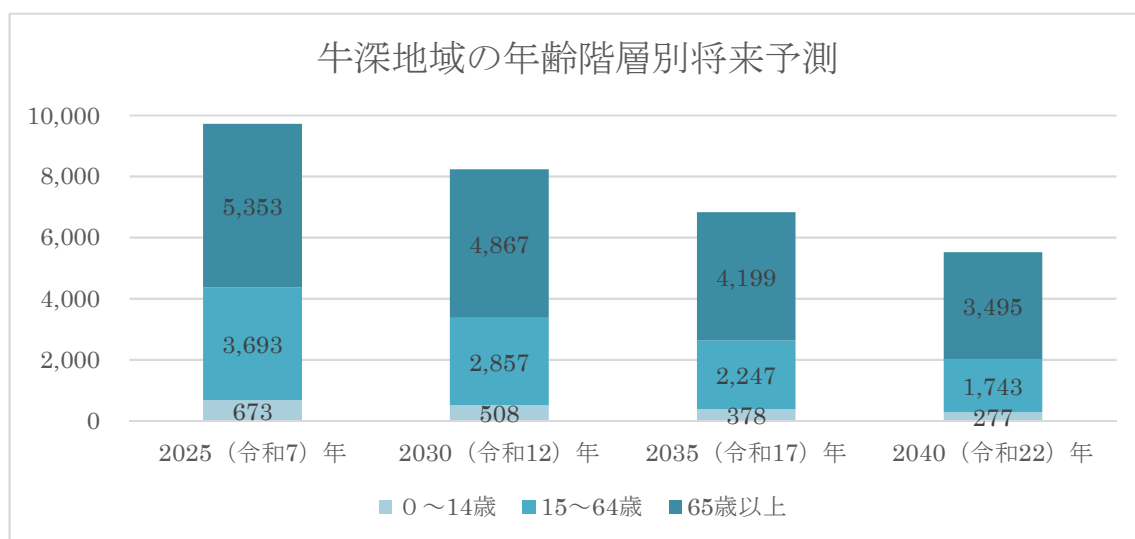


表5 牛深地域の産業別就業者数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
就業人口総数	7,091	100%	6,078	100%	5,621	100%	5,038	100%
第1次産業	1,417	20.0%	1,144	18.8%	991	17.6%	809	16.1%
第2次産業	1,467	20.7%	1,266	20.8%	1,167	20.8%	1,062	21.1%
第3次産業	4,207	59.3%	3,668	60.3%	3,463	61.6%	3,160	62.7%

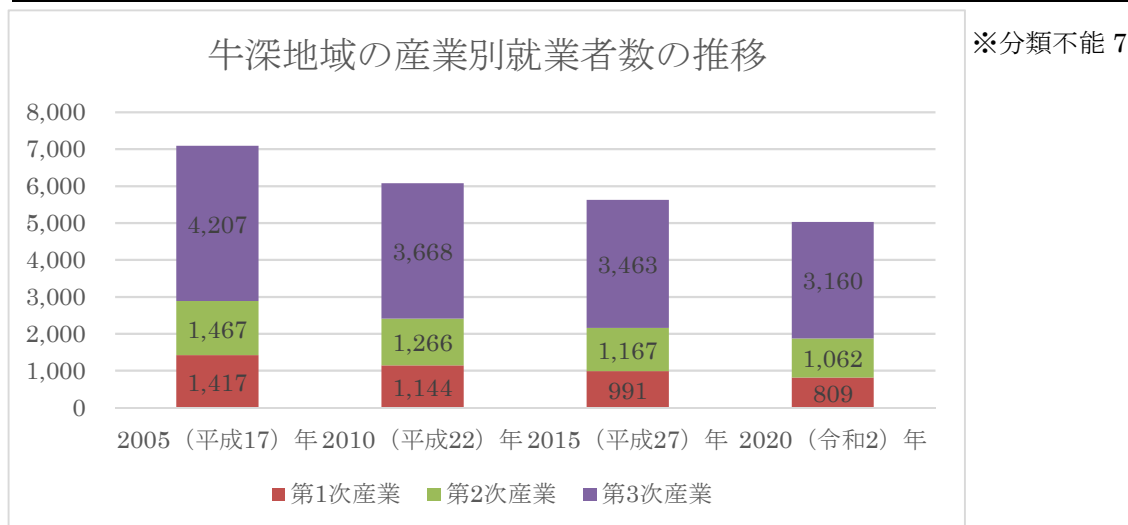
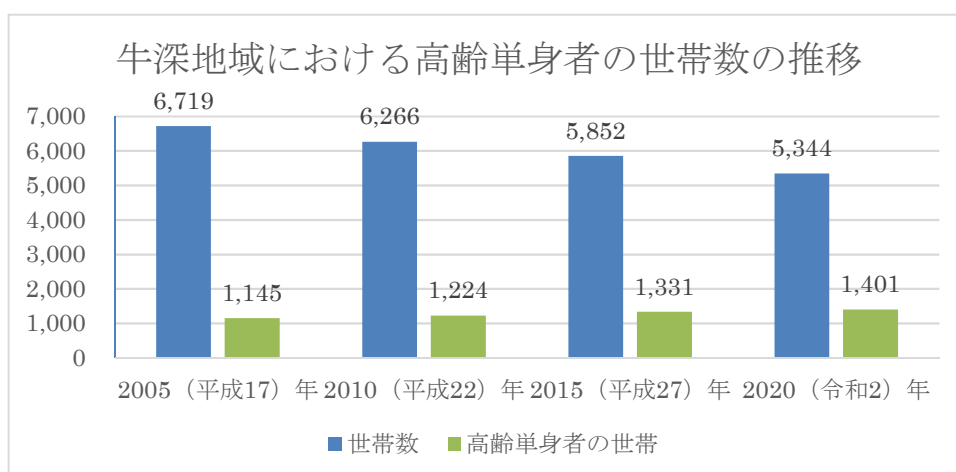


表6 牛深地域における高齢単身者の世帯数の推移

(国勢調査)

	2005 (平成17)年		2010 (平成22)年		2015 (平成27)年		2020 (令和2)年	
	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	比率	世帯数	比率
世帯数	6,719		6,266		5,852		5,344	
高齢単身者の世帯	1,145	17.0%	1,224	19.5%	1,331	22.7%	1,401	26.2%



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

地域資源を活用して出来ることから始めよう

～「豊かな海とハイヤ」を守り伝える活力あるみなとまち“牛深”～

本地域において、生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民 1 人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、性別や年齢などの違いにかかわらず、継続的にまちづくりを実践できるよう、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

よって、まちづくりの基本理念を「地域資源を活用して出来ることから始めよう～「豊かな海とハイヤ」を守り伝える活力あるみなとまち“牛深”～」とし、生き生きとした個性あるまち、牛深づくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

- ①産業経済部門・・・創造性豊かな産業のまちづくり
 - ・特産品を活用したまちづくり
- ②観光・文化部門・・・歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり
 - ・牛深ハイヤを活用したまちづくり
 - ・地域伝統芸能を活用したまちづくり
 - ・牛深の歴史・文化、自然、景勝地などの魅力を活用したまちづくり
 - ・既存観光文化資源と光を活用したまちづくり
 - ・地域間交流の促進
- ③地域振興部門・・・みんなで築く活力あるまちづくり
 - ・地域活性化のための活動に取り組みやすいまちづくり
 - ・スポーツ大会、文化芸能活動を通じた住民の誇り、生きがいつくり
- ④教育部門・・・未来を拓く人を育むまちづくり
 - ・地域住民の教養の向上
 - ・地域リーダーの育成
 - ・未来を拓く子どもたちの学びの支援
- ⑤保健・医療・福祉部門・・・生き生きと暮らせ共に支え合うまちづくり
 - ・スポーツ大会、文化芸能活動を通じた住民健康づくり
- ⑥生活環境・防犯防災部門・・・環境と共生した安心・安全なまちづくり
 - ・地域の景観づくりの促進
 - ・安心して暮らせるまちづくり

4 分野別行動計画

各地区におけるアンケートや意見交換会、また、本地域全体ワークショップで、本地域の特色と課題を分野別に洗い出しました。また、部門方針及びそれに基づいた具体的な方策を本地域全体ワークショップで検討し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの、行政主体で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリや鯛などの養殖が盛んに行われており、かつ天然のアジや鯛、イカなどの新鮮な魚介類を獲ることができる。 ・雑節の生産量が日本一である。 ・柑橘類の栽培に最適な段々畑の環境を生かし、高い品質を持つ晩柑や不知火（デコポン）などの生産が行われている。 ・農業についての専門家も多く耕作放棄地で芋、玉ねぎ、菜の花等を栽培している。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業従事者は高齢化しており、後継者も少なく、農業・漁業の従事者は減少の一途である。 ・若者の雇用の場が少ないため転出者が多く、若者の人口流出が著しい。 ・耕作放棄地や、使われていない漁船が増えてきている。 ・新鮮な海産物・農産物があるが、牛深の特色を生かした菓子類の土産品が少ない。

4.1.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期		
		R5	R6	R7	4年 以上		

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特色	<ul style="list-style-type: none">・牛深ハイヤは、全国ハイヤ系民謡の発祥とされ、全国的に有名な郷土芸能である。また、4月に開催されるハイヤ祭りには毎年各地から多くの観光客を集めている。・砂月海水浴場、茂串海水浴場を有し、夏場には海水浴客で非常に賑わっている。・遊漁船の基地として有名で多くの釣り人が訪れている。・天草夕陽八景（10カ所）に牛深地域から三景（4カ所）が選定されている。・国立公園の指定区域内である六郎次山や遠見山の頂など、素晴らしい景観を持つ山が点在している。・くまもとアートポリス事業に採択された「牛深ハイヤ大橋」があり、漁港連絡橋として利用されると共に、近年のイルミネーションなどの取組も相まって、牛深の観光スポットの中心となっている。・我が国最古の海城とも言われる「久玉城跡（県指定史跡）」を初め、多くの文化財、史跡が点在している。・市指定無形民俗として、虫追い祭りや塩振り踊り、神子舞、池の祭り、久玉八幡宮大祭、川祭り、大麻祭り、神待祭、山之神祭、大祓祭、祭日祭等の祭りが住民の心のよりどころとして継承されている。・深海町の河津桜の認知度が上昇してきた。・「天草小唄」で有名な横田良一が本市二浦町の出身であり、毎年「横田良一祭」が開催されている。・日本人女性として初めてドイツで医学博士の学位を受けた医師「宇良田唯」の出身地として、顕彰碑が設置されている。・平成27年3月19日、本市と高森町が【横軸連携交流】について協定。
課題	<ul style="list-style-type: none">・宿泊施設が少ないため、牛深ハイヤ祭り等のイベント時に多くの観光客を収容できていない。・年間を通じた「牛深ハイヤ」を感じることができる場所がない。・若者の減少により地域の伝統行事の担い手や、案内できる知識を持った住民が不足している。・地域伝統芸能を担う者の高齢化などにより後継者が不足している一方で、文化継承のための取組が少ない。・地域を包括した情報発信やインフォメーション機能が弱い。・同時期の開催のイベントの相互の横軸連携（情報共有）が不足している。・文化財や史跡などの既存の観光資源を、存分に活用することができていない。

4.2.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
<p>【ハイヤを楽しむファンづくり事業】 牛深ハイヤ踊りや元ハイヤなどの体験や鑑賞を通して、牛深ハイヤをPRする事業(天草八十八ヶ所霊場巡礼者におもてなしを行う「天草八十八ヶ所巡りめいどサロン」など)に対し、予算の補助を行うことで、牛深ハイヤの認知度、魅力度の向上を図っていく。</p>	予約に対する対応率 90%の確保	—————▶				<p>婦人会 + まち協 + 各種団体</p>	<p>政策9 芸術文化 の振興と歴史文化の 保存・継承</p>
<p>【うしぶか Nanairo プロジェクト】 各種団体と協働し、イルミネーション等を活用した「光のまち」の推進に取り組む。この取り組みに既存事業や各種団体事業を掛け合わせて実施していくことで、観光客の増加や地域経済の活性化、地域住民のシビックプライドの向上を図っていく。</p>	年間2回以上の実施	—————▶				<p>まち協 + 地区振興会 + 各種団体</p>	<p>政策16 魅了ある観光の創造</p>

4.3 地域振興部門

4.3.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや、清掃活動などへの参加率が高い。 ・ 振興会の役員が協力的である。 ・ グラウンドゴルフが盛んである。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区振興会等の地域活動が、高齢者を中心に活動している状況であり、若年層の参加が少ない。 ・ 事業への参加者が固定化されつつある。 ・ 地域イベントへの参加者数が年々減少している。 ・ 地域リーダーの高齢化が深刻である。 ・ 若い会員がいるが、会員の能力を十分に活用しきれていない。 ・ 地域振興活動の内容が十分に広報できておらず、活動内容をあまり知らない住民も多い ・ 自分たちの地域は自分たちで作り上げていくという認識を持っていただくための取り組みを行う必要がある。 ・ 小学校、中学校の統廃合が進み地域の活気が薄れている。 ・ 高齢化が進み、郷土料理が風化していく傾向にある。

4.3.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期		長期			
		R5	R6	R7	4年 以上		
【郷土料理教室】 小学校 6 年生を対象に、地元の食材を使った伝統ある料理教室を実施することで、地元の食材の素晴らしさを伝えると共に、地産地消の意識啓発を図る。	毎年 1 回実施	—————→				婦人会 + まち協	政策 6 子どもたちの学びの充実 政策 15 経済の好循環を生み出す地産地消・地産地消の推進
【まちおこしサポート事業】 牛深地域における「まちの活性化」に繋がる他団体等の事業に対し、さらなる活性化が生み出されるよう支援を行う。	毎年 2 回実施	—————→				まち協	政策 2 様々な分野における市民活動の推進
【包括的広報活動】 牛深地域の各種イベントや、旬の物産などの情報を集約し、効果的な広報を行う。手法については、SNS やホームページを中心に、それぞれを掛け合わせた包括的な広報を行うことにより、それぞれの相乗効果を狙う。また、本会で取り組んだ事業について牛深地域住民向けに「牛深まちづくり協議会だより」を発行する。	随時更新	—————→				観光協会 + まち協 + 地区振興会	政策 1 市民が活躍する地域づくりの推進 政策 16 魅力ある観光の創造

【えびす大黒グラウンドゴルフ大会】 他地域の住民と地元住民が交流するスポーツ大会を行うことで、住民の生きがいづくりや健康づくりはもとより、交流人口の増加による地域活性化を目指す。	毎年1回実施					牛深地区 振興会 + まち協 + グラウンド ゴルフ協 会	政策22 スポーツ・運動 の推進と交流機 会の創出

4.4 教育部門

4.4.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・人情溢れる牛深の風土により「温かい心」を持った子どもが多く育っている。 ・牛深地域内の中学校にて、伝統文化の継承として牛深ハイヤ保存会による牛深ハイヤの指導が行われている。 ・牛深高等学校にて、地域に根差した特色あるまちづくりや産業に関する研究活動などが行われている。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、小学生の体力維持・向上が危惧される。 ・趣向が多様化する社会にあり、かつ新型コロナウイルスの流行により、人との関わりの希薄化が懸念されている。 ・少子化により多くの子ども会が解散し、小中学校のPTA活動も縮小している。

4.4.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施 主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【牛深高校探究活動等支援】 牛深高校生徒による探究活動等を支援し、生徒たちの探求心や向上心を育成する。また、それらの活動で得られた成果を、地域振興活動に繋げていくことで、本地域の活性化を図り、もって高校生や地域住民らのシビックプライドの醸成を目指す。	随時					まち協 + 牛深高校	政策6 子どもたちの 学びの 充実 政策7 学びの発 見と人材を 育成する 大学との 連携

4.5 保健・医療・福祉部門

4.5.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の互助意識が高く、安心して暮らせる。 ・元気な高齢者が多い。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバス便が少なく高齢者の病院等への移動が不便な状況である。 ・高齢者の一人暮らしが増えてきており、地域内の見守りパトロールや災害時等の避難体制の整備が必要である。 ・高齢者が定年等により現役を引退した後も、地域での「居場所」や「出番」、「役割」を得られるような場所づくりが求められている。

4.5.2 具体的な振興方策

具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【天草地域芸能祭】 高齢者が定年等により現役を引退した後も、地域での「居場所」や「出番」、「役割」を得られ、健康で意欲を持ち続けながら生活を送ることができるよう、高齢者の生きがいづくりを支援する。	毎年1回の開催 来場者数400人	—	—	—	→	老人会 + まち協	政策 20 高齢者の 生きがい づくりの推 進
【ハイヤ杯グラウンドゴルフ大会(まちおこしサポート事業)】 高齢者が、健康で意欲を持ち続けながら生活を送ることができるよう、グラウンドゴルフ大会を通じ、高齢者の生きがいづくりを支援する。	毎年1回の開催 参加者数300人	—	—	—	→	牛深地区 振興会 + まち協 + グラウンド ゴルフ協 会	政策 17 健康寿命 の延伸 政策20 高齢者の 生きがい づくりの推 進
【AED 設置事業】 万が一の事態に備え、誰もが使用できる場所に AED を設置し、維持管理を行うことで、住民の生命を守る。	機材の維持管理	—	—	—	→	まち協	政策 31 消防・救 助・救急 体制の充 実

4.6 生活環境・防犯防災部門

4.6.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事件や事故が非常に少なく安全な暮らしができる。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くに商店等が無くなり買い物が不便になった集落が増えてきている。 ・ 空家や空地が増加し倒壊の危険性や雑草、害虫が問題化している。 ・ 年々除草作業協力者が高齢化してきており、草刈り作業が大きな負担となっている。 ・ 住民の憩いの場や集いの場が少ない。 ・ 少子高齢化や人口減少により、海岸清掃が困難になってきている。 ・ 不審者情報などがある中、通学途上の子どもの見守りが課題となっている。

4.6.2 具体的な振興方策

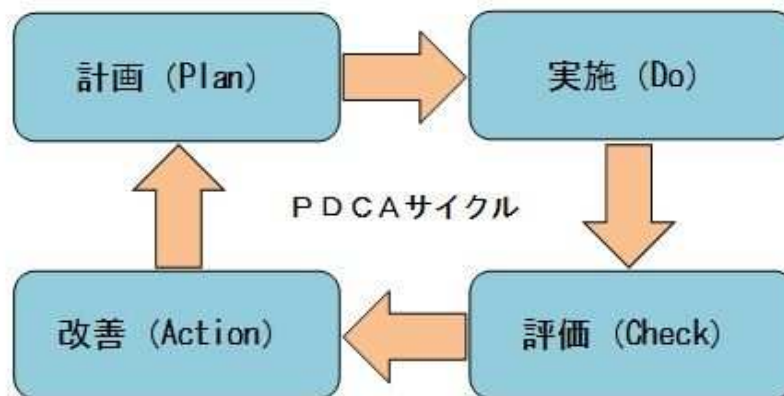
具体的な振興方策	目標数値	実施期間				実施主体	備考 基本計画 対応番号
		短期			長期 4年 以上		
		R5	R6	R7			
【グリーンアップ大作戦(まちおこしサポート事業)】 牛深が誇る豊かで綺麗な海を、市民あげて清掃し、景観維持を図る。	年1回の開催	—	—	—	—	まち協 + 市民団体等	政策36 自然資源 を活用した 地域の魅力 向上
【防犯カメラ設置事業】 防犯カメラを設置し、継続して稼働させることで、犯罪に対する抑止力を高める。	機材の維持管理 5年1回のリース料の 支払い	—	—	—	—	まち協 + 商工会 議所	政策32 防犯・交 通安全・ 消費者保 護対策の 推進
【環境整備(草刈り)事業】 各地区振興会等に草刈り機の貸出を行うことにより、これからの高齢化社会であっても継続可能な、負担の少ない環境整備作業(草刈り作業)のサポートを行う。	年10回以上の貸出	—	—	—	—	まち協 + 地区振 興会等	政策25 良好なま ちなみの形 成

4.7 計画の推進体制

本計画の推進体制については、牛深まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図3 天草市牛深地域まちづくり計画の評価・見直し（PDCAサイクル）



4.7.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に牛深まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

4.7.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上牛深まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)		16.2
人口(人)	総人口	6,208
	15歳未満	548
	15～64歳	2,692
	65歳以上	2,961
高齢化率(%)		47.7
就業人口(人)	第1次産業	428
	第2次産業	615
	第3次産業	1,785
世帯数(世帯)	総世帯数	3,054
	高齢単身者	834
行政区数(区)		14
学校	牛深小学校、牛深中学校	
文化財・史跡	龍仙島(片島)、サソリモドキ、牛深ハイヤ節・獅子舞い、牛深おはら、平野成政碑、元下須遺跡より出土の土器石器類、木杯、遠見山中番所跡、官軍墓地、烏帽子坑跡、御用井戸、牛深鯉流れ舟慰霊碑、宇良田タダ女史碑、台場、発電所跡、踏絵寺(弥念寺)、五足の靴文学道	
その他地域資源	牛深ハイヤ大橋、うしぶか公園、茂串海水浴場、せどわ、砂月海水浴場、小森海岸の夕陽、遠見山(すいせん公園)、鶴葉山公園、長良記念館、牛深海彩館資料展示室、十五夜綱引き、加藤神社、観音堂、牛深八幡宮	
地域伝統芸能	牛深ハイヤ、牛深ハイヤ祭り、牛深磯節、牛深八幡宮秋季例祭	
地域づくり団体	区長会、婦人会ほか	
地区のいいところ・自慢できるところ		
三方を海に囲まれ、海の透明度が高く、変化にとんだ自然から国立公園に指定されている/海水浴場が2か所(砂月・茂串)あり非常に賑わっている/天草夕陽八景に牛深地区で2ヶ所選定されている/全国的にも有名な郷土芸能である牛深ハイヤがある/牛深八幡宮の祭りなど伝統行事がある/人情が豊かである/新鮮でおいしい魚介類など食が豊富である/食べ物がおいしく住みやすい/牛深ハイヤ大橋があり、観光スポットにもなっている/藍より青い海/牛深SUMMERランタンフェスティバル/		
地区が抱える課題・困っていること		
雇用の場の減少/担い手の不足/熊本市内から片道3時間も要するなど交通アクセスが悪い/少子高齢化/過疎化/若年層の人口減少/若年層の町外、市外への流出/高齢化による避難場所の管理や草刈り等難しくなっている/		



(桜木展望所からの牛深地区の風景)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	地域住民の誰もが「にぎわい」を実感できるまちづくり
考え方	地域住民同士のふれあいや郷土の歴史・文化を大切に、誰もが「にぎわい」を実感できるまちづくりに取り組みます。また、牛深ハイヤ等を活かして交流人口の増加を図り、会員自らが関わることで「シビックプライド」の醸成に取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> 牛深ハイヤや磯節などの伝統芸能の継承が危ぶまれているため、地方の育成を行っている。 地域の魅力を理解してもらうため、牛深ハイヤや伝統文化を活用したイベントの実施、また、茅の輪、イルミネーションを活用した賑わいの創出に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○牛深ハイヤや地域の史跡などの地域資源を活用したまちづくり ・郷土芸能である牛深ハイヤを活用した事業を実施する。 ・地域の史跡や案内看板を保全する。 ・名所や街並みを各種照明で華やかに浮かびあげて集客を図る。 ・茅の輪を設置して地域の伝統文化との連携を図る。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民手作りによる演芸祭などのイベントを開催している。 ・地域のふれあいを大切に作る心を育み、地域の一体感を図るため、子供たちと高齢者の交流(グラウンドゴルフ大会)を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民手作りによるふれあいを大切にするまちづくり ・住民手作りによる事業を実施する。 ・多くの地区住民が参加できる事業を実施する。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと地域の高齢者との交流活動を行っている。 ・遊休地の利活用も兼ねてジャガイモの作付けを行う中で、学校等と連携し、自然体験活動を通じて子どもたちの「生きる力」の育成に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみでの青少年の健全育成を行うまちづくり ・青少年の健全育成や総合学習につながる事業や地域の人との交流活動を学校等と連携しながら実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の長寿を祝うため、敬老会を開催している。 ・体を動かす機会を創出し、健康増進につなげるため、うしぶか地域健康祭を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で生きがいを持って生活することができるまちづくり ・子どもから高齢者までが参加できる事業を実施する。 ・高齢者の長寿を祝うため、敬老会を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会や自主防災組織において、避難訓練や炊き出し訓練、救命講習などの訓練を実施している。 ・災害などに備えるために、各地区の自治公民館などに消火器やAEDを設置し、配置マップを作成して全世帯へ配布した。 ・景観整備のため花壇等への植栽を行った。 ・ドローンを活用して災害時などに活躍できる人材の育成を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害や犯罪のない明るいまちづくり ・災害に備え、避難訓練などを実施する。 ・景観整備のため、花壇等への植栽を実施する。 ・資格などを取得し、災害時などにドローンを活用して活躍できる人材を育成する。
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・地区振興会の担い手不足がある。 ・活動状況報告や事業への参加募集などのために広報誌を発行している。 ・事業活動の充実や役員の資質向上を図るため、視察研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で知恵を出し合えるまちづくり ・活動状況報告や事業参加募集などを行うため広報誌を発行する。 ・役員の資質向上を図るため、視察研修を実施する。

牛深地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
B	郷土芸能振興事業 座・ハイヤ	ハイヤ踊りの源流とされる「なったが踊り」を、当時の雰囲気再現して実施する「座・ハイヤ」として開催し、実際に体験してもらうことで、地域の魅力を知ってもらう。	参加者数100人以上					振興会	
B	郷土芸能振興事業 牛深ハイヤ交流事業	牛深ハイヤ踊りやハイヤ太鼓を市内外のイベント等で体験や出張披露することで、交流を図る。また、他地域からの視察研修を受け入れ、地域経済の活性化を図る。	年1回以上実施					振興会	
B	郷土芸能振興事業 牛深ハイヤ太鼓	地域のイベントなどに出演し、地域を盛り上げる。	週1回練習の実施 イベントなどへの出演					振興会	
B	牛深遺産発掘活用事業	牛深地区の隠れた史跡などを紹介する看板を設置しており、その看板を活用してウォーキングイベントを開催する。また、茅の輪を設置して地域の伝統文化との連携を図り、加えて、牛深ハイヤの地方の練習を行い、地域のイベントなどの出演、協力を行う。さらに、うしぶか海彩館などの名所や街並みを各種照明で華やかに演出し、牛深の新たな観光スポットを創出する。	ウォーキングイベントを実施 茅の輪を設置 夜間観光スポット3ヶ所以上					振興会	
C	文化事業 やって みゆーかい演芸祭	地域住民による演劇やカラオケ、舞踊などの披露を行う演芸祭を開催する。	来場者数400名以上					振興会	
D	ふれあいグラウンド ゴルフ大会	顔を合わせる機会が少ない小中学生と高齢者の交流の場を作り、地域のふれあいを大切にすることを育み、地域の一体化を図ることを目的にグラウンドゴルフ大会を開催する。	高齢者200名以上の参加					振興会	
D	町民文化・スポーツ 交流事業	地域の文化・体育振興及び青少年の健全育成に寄与することを目的に、各種イベント、大会等への支援を行う。	各種イベント、大会等へ支援の実施					振興会	
D	遊休地利活用実証事業	遊休地の利活用を行う中で地域住民や小学校等との交流活動を行い、シビックプライドの醸成促進を図る。	地域の交流活動を1回以上					振興会	
E	敬老会	75歳以上を対象に、3会場において、式典やアトラクションなどの敬老会を開催する。	年1回開催する					振興会	
E	うしぶか地域健康祭	毎年10月第1日曜日に、地域住民の健康増進に寄与することや、幼児から大人までが一堂に会することで親睦や地区の連帯感を深めることを目的に、健康祭を開催する。	参加者数500名以上					振興会	
F	環境保全事業	各地区において、除草作業や海岸清掃などの環境美化活動を行う。また、ホウ酸団子の作成を行い配布を行う。	各地区年1回実施					振興会	
F	花いっぱい運動	花木の植栽により景観を整備し、地域住民は元より観光客へのイメージアップを図るため、庁内の花壇への植栽を行う。	年1回植栽の実施					振興会	
F	防災防犯活動	振興会や自主防災組織単位で避難訓練などの訓練を実施し、防災意識の向上を図る。また、子供が危険を感じた時に避難できる場所の設置とその場所が分かるように掲示するシールを作成する。	年1回避難訓練などの防災訓練の実施					振興会	
F	ドローンを活用した情報発信と地域活性化	ドローンを活用して災害時や観光・文化などで活躍できる人材の育成を図る。	年2回以上の講習会等を実施					振興会	
H	広報誌「いおメール」	地区振興会の活動状況や事業への参加募集などの内容を掲載し、情報発信を行う。	年1回発行					振興会	
H	先進地視察研修	地区振興会役員が、県内外の先駆的活動や地域に根付いた活動を展開している地域づくり団体等を訪れ研修を受けることで、振興会活動の充実や役員の資質向上を図る。	視察参加者数15名以上					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。


牛深地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野 別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施 主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2年国勢調査参考)		 <p>権現山展望台からみた久玉地区</p>	
面積(km ²)	21.1		
人口(人)	総人口		2,650
	15歳未満		226
	15～64歳		1,155
	65歳以上		1,269
高齢化率(%)	47.9		
就業人口(人)	第1次産業		114
	第2次産業		287
	第3次産業		785
世帯数(世帯)	総世帯数	1,190	
	高齢単身者	283	
行政区数(区)	11		
学校	・熊本県立牛深高等学校 ・天草市立牛深東中学校 ・天草市立牛深東小学校		
県指定史跡	久玉城跡		
市指定史跡	久玉権現様 眼鏡橋		
市指定天然記念物	無量寺の無患子 正光寺の公孫樹 山の神杉(上揚) 中の浦蘇鉄		
市指定彫刻	一石二字一字十念供養石佛(無量寺境内) 西国三十三観音像(無量寺境内)		
市指定無形民俗	内の原虫追い		
その他地域資源	河童の民話 やすらぎの湯・やすらぎ荘 内の原旧石器縄文時代遺跡		
地域伝統芸能	内の原虫追い 久玉八幡宮大祭		
地域づくり団体	区長会 老人会 消防団		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>久玉地区には久玉城跡(県指定史跡)他多くの文化財、史跡が点在している。市指定無形民俗の内の原虫追い、久玉八幡宮大祭を町の伝統行事として位置づけ、町民の心のよりどころとして継承されている。久玉地区振興会事業として開催している夏祭りや芸能文化祭は好評で多くの人で賑わい、グラウンドゴルフが出来る広場を有していることから、年6回大会を開催し高齢者の健康づくりに貢献している。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>少子高齢化に歯止めがかからず令和4年4月での65歳以上の高齢化比率は48.20%となった。加えて75歳以上の一人世帯も増え続けているため、そのひとたちを守る体制づくりが急務である。又、農業者も高齢化し後継者がいないと廃業となり、荒地地も年々増え続ける状況にある。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	<h2>「地域を挙げて」が実感できるまちづくり</h2>
考え方	ふるさとの豊かで美しい自然や歴史を守り、安心して暮らせる町づくりを目指します。 地域性を重視した振興会事業の企画と実践により久玉区民の融和を図り、お互いを尊重し助け合いのできる町づくりを目指します。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済		
【B】 観光 ・ 文化	久玉地区には多くの史跡・天然記念物・内の原虫追い・久玉八幡宮大祭等がある。 内の原にはやすらぎ荘・温泉があり娯楽も楽しめる。	住民一人ひとりが心豊かで充実した人生をおくれるようなイベントの推進を図る。 ○自主学級の推進 ○発表の場の提供(芸能文化祭) ○久玉歴史ウォークラリー
【C】 地域 振興	各種イベントの参加者は年々増加傾向にある。定着してきた感はあるが、若い世代の参加者が少ないようだ。夏祭りでは子供たちが喜ぶ企画をして保護者を巻き込む事ができている。	住民に喜んでもらえる活動を活性化し、地区の交流を図る○ハイヤ踊りへの参加 ○ふれあい広場での夏祭り ○鬼火の実施 ○地域情報(久振だより)の発信) ○振興会部会員の推進
【D】 教育	牛深東小・中学校の児童、生徒に本の素晴らしさを知ってもらうために読み聞かせを行っている。 牛深東小生徒と地域のお年寄りとの昔遊びの交流。 牛深東小1・2年との野菜作り体験を行っている。	子供たちに人に対するやさしさといわりの心を育ててもらうためにも継続する。
【E】 保健・医療 ・福祉	75歳以上を対象とした敬老会を毎年9月に開催し、長寿をお祝いする式典とアトラクションを実施している。グラウンドゴルフ大会も年6回開催し高齢者の健康維持に貢献している。	高齢者の健康の維持につながる行事の開催 ○敬老会の開催 ○グラウンドゴルフ大会の開催 ○各区単位での高齢者見守り隊の推進
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	地域の生活環境維持のため、各区単位で道路及び河川の清掃作業。 花壇の植栽、また海岸清掃を実施している。	現在行っている事業活動を継続する。 ○区単位での防災訓練実施の推進 ○環境美化活動の取り組み
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

久玉地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
B	芸能文化祭	日頃の趣味や特技を発表し合い、それぞれの良さに気づきあい、地域の人と交流し親睦を深めるとともに、地域文化の継承、発展につなげる。	入場者目標150名					振興会	
D	世代間交流	地域の高齢者と牛深東小六年生がグラウンドゴルフで交流を図り、子供たちのお年寄りを敬う心を育て、また高齢者にも楽しんでもらう。	年1回開催					振興会	
B	カラオケ等の発表会	カラオケ・舞踊・フラダンスの発表会を開催することで、地域の方々との交流や仲間づくりの機会となっている。介護施設からの要請によりコンサート慰問等おこなう。	入場者目標70名					振興会	
C	ハイヤ祭り参加	牛深地域の最大のイベントのハイヤ踊りには東小生徒と連携して積極的に参加する。	参加者目標50名					振興会	
C	鬼火	毎年1月7日に鬼火をおこなっている。施設入所者を招き、ぜんざい等のおもてなしをする。無病息災を願い餅をあぶりに来る人も年々増えている。	来場者目標100名					振興会	
C	ふるさと夏祭り	夏祭りは子供たちが喜ぶようなプログラムを多くすることで保護者も参加するようになった。8月14日に開催することで地元と里帰りのひとたちの交流の場となっている。	来場者目標300名					振興会	
C	久振だより発行	地域の情報の発信として毎月発行している。振興会の活動だけでなく久玉地区内であった出来事を全区民に知ってもらい交流を深めたい。	毎月久玉地区全世帯に回覧する					振興会	
D	読み聞かせ・高齢者との交流	子供たちに本を身近に感じてもらい、本の持つ重要性和すばらしさを知ってもらう。また高齢者との交流も図っていく。	牛深東小・牛深東中の全生徒に実施					振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	高齢者の健康増進と生きがいづくりにはならないものであり、グラウンドにある花壇を区画し、チームごとに植栽、管理をすることで仲間意識の強化を図る。	年6回開催 大会ごとの参加者目標80名					振興会	
E	友愛訪問	天草市社会福祉協議会の委託を受け75歳以上で一人暮らしの高齢者の安否確認を兼ね、振興会女性部が手作り弁当をお届けする。	年1回実施					振興会	
E	敬老会	長寿を祝って式典を開催、アトラクションとして牛深東中のハイヤ踊り、牛深東小の寸劇、カラオケ、舞踊等で楽しんでもらうほか記念品を贈呈する。	75歳以上の高齢者対象に開催					振興会	
F	美しい町づくり	国道沿いの清掃や花壇づくり、海の清掃等を行い、環境美化に取り組む。	年1～2回ほど実施、花壇の手入れは必要に応じて実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

久玉地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
F	美しい町づくり	権現山登山道清掃作業	年1回実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(k㎡)		16.79
人口(人)	総人口	1,125
	15歳未満	63
	15～64歳	455
	65歳以上	607
高齢化率(%)		54.0
就業人口(人)	第1次産業	183
	第2次産業	82
	第3次産業	250
世帯数(世帯)	総世帯数	487
	高齢単身者	113
行政区数(区)		5
学校		
文化財・史跡	国指定名勝・六郎次山 椎の木崎古墳 星の浦古墳 下馬刀島 楠 下平もんつき唄	
その他地域資源	大相撲・大関栃光 生誕の地	
地域伝統芸能		
地域づくり団体	区長会 老人クラブ 消防団 子ども会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園の指定区域内である六郎次山頂から眺める景観が素晴らしい。 ・鯛の一本釣り漁場として有名。 ・「ばんかん」など柑橘類の生産が盛んで、品質も高い評価を得ている。 ・地区の共助・互助意識が高く、独居老人も多いが安心して暮らせる。 ・防犯意識が高く、交通事故等も少なく安全な暮らしができる。 ・町民体育祭などのイベントや、清掃活動などの参加率が高い。 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進み、人口の減少に歯止めがかからない。 ・就業先がなく、学校卒業と同時に県外などへ転出し人口の流出が止まらない。 ・農漁業の後継者が少なく高齢化しており、耕作放棄地が目立ち、遊漁船も減少している。 ・地区内に医療機関がなく、バスの便が少ないため通院に困っている。 ・商店が少ないため、食品や日用品の買い物は牛深・本渡方面まで出向いている。 ・学校がなくなったため、地域に子どもの声がなくなり寂しくなった。 		



◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	恵まれた自然と共生し、快適に暮らせるまちづくり
考え方	豊かな自然の恵みを楽しみ、地域資源の維持と活用を図ると共に、地域活動に気軽に参加出来る、豊かな地域コミュニティが息づくまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、漁業、遊漁船業、旅館業などの本町基幹産業の衰退と高齢化。 ・遊漁船業や旅館業などが連携し、「鯛釣ろかい選手権」を実施している。 ・「浅海ばんかん祭り」は、経済的にも効果が出ている。サポートを利用した他の事業についても集客数が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域産物を活用したまちづくり ・地域経済の活性化に寄与する「鯛釣ろかい選手権」の実施期間を延長し、参加者の増加を図る。 ・地域の産物を把握すると共に、各団体が実施する事業をサポートする。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・名勝や史跡など点在しているものの、活かしきれていない。 ・近年、町内各所に植樹された河津桜が、市内外の花見客らから注目を集めている。 ・子ども会中心で実施してきた行事が、子どもの減少で困難になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大切な資源を活かしたまちづくり ・名所等を様々な手段により輝かせ、町民が誇りに思う憩いの場を創出するとともに、市内外からの誘客を図る。 ・子ども会を中心とした各団体の活動をサポートすることで、伝統行事等の継続を図る。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域みんなが楽しめるイベントを行っている。(町民体育祭、自主グループによる活動等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの町民が参加するまちづくり ・町民体育祭の他、多くの町民が参加できる事業を実施する。 ・新規サークル結成を促し、参加者を増やす。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の機会が少なく参加者も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識を深め心豊かなまちづくり ・地域の歴史を学ぶ機会を増やし、後世に伝える。 ・生涯学習の機会を増やし知識を深める。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ大会を年3回実施。 ・健康増進と、ふるさと再発見のために六郎次山ウォーキング大会を年1回実施。 ・高齢者の長寿を祝うため「敬老会」を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく元気なまちづくり ・ウォーキング大会など各大会の運営を工夫し、イベントの参加者を増やす。 ・敬老会は3会場で実施し、参加しやすい内容に努める。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園(六郎次山)の整備が必要。 ・旧小学校敷地等の除草を年1回実施。 ・未利用地の除草が必要だが、手が回らない。 ・花いっぱい運動は定着しつつある。 ・防災訓練を年1回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心で美しいまちづくり ・行政や各種団体と協力し、六郎次山の景観やトイレの改善を図る。 ・清潔で美しいまちづくりのために清掃活動と花いっぱい運動を実施する。 ・除草については、他団体から大型機器を借りるなどして効率的に実施する。 ・円滑に避難が出来るように準備や訓練を実施する。

深海地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	鯛釣ろかい選手権	毎年、秋に開催。遊漁船の船頭や旅館と協力し、地域経済の活性化を推進。開催日数を増やすなど参加者の増加も図る。	参加者150人	→				振興会	
A	深海まちづくりサポート事業	産業及び経済活動につながる自主グループが実施する各種事業をサポートする。	年間4回のサポート	→				振興会	
B	地域伝統継承	どんどや・十五夜を実施する。子ども会を中心に、他の団体等と共催するなど工夫し伝統を継承する。	参加者200人	→				子ども会	
C	夏祭り	盆踊りやゲーム、花火大会等を実施する。盆の時期に開催することで帰省客にも楽しんでもらう。	来場者800人	→				振興会	
C	各種の自主教室	生け花、ミニバレー、カラオケなどの自主グループによる活動の周知を図り、参加者の増加と新規グループの結成を促進する。	参加者2割の増加	→				振興会	
C	町民体育祭	年1回実施する。子どもから高齢者まで気楽に参加でき、楽しめる内容にする。	参加者800人	→				振興会	
D	豊かな心を育む事業	市民学級への参加を促す。新規の学習サークルを結成する。	参加者100人	→				(協働)振興会 + 行政	
E	グラウンドゴルフ大会	年3回実施。うち2回は他団体と共催する。子どもと高齢者の交流を図る。	年3回の開催	→				振興会	
E	敬老会	高齢者の長寿を祝い、交流の場を提供する。より多くの方が参加しやすいよう、内容を工夫するとともに3会場で実施する。	対象者の7割の参加	→				振興会	
E	六郎次山ウォーキング大会	鶴の北帰行にあわせて実施し町外からの参加者を増やす。ルートとイベントの工夫を行う。	参加者100人	→				振興会	
F	国立公園清掃事業	国立公園の除草、樹木の処理により眺望を確保する。海の日に合わせて旧小学校や未利用地等の除草を行う。	年2回の実施	→				振興会 漁協	
F	環境美化運動	花いっぱい運動を展開する。旧小学校や未利用地等の清掃を行う。	年3回の実施	→				振興会	
F	地域自主防災訓練	行政が行う地震津波を想定した防災訓練に合わせて実施する。消防団と協力し、AEDの使用方法や避難経路の確認を行い、防災意識の向上を図る。	住民3割の参加	→				(協働)行政 + 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

深海地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
B	名所等ライトアップ事業	夜、町内の名所等を照明で輝かせ、昼間とは違った新たな誘客スポットとする。	年1回の実施	→				振興会	
B	深海町ゲートウェイ事業	深海町の西側玄関(国道266号線に接する県道288号線周辺)に門松や七夕飾りを設置し、観光客や帰省客を温かく迎える。	年2回の実施	→				さくら会	
D	タイムカプセルオープン事業	創立100周年記念(S49年度)として深海小学校校庭に埋設したタイムカプセルを50年後(R6年度)に開封し、現代の子供たちも交え、世代を超えた学習の機会とする。	参加者50人	→				振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	16.3km ²	
人口(人)	総人口	725人
	15歳未満	51人
	15～64歳	313人
	65歳以上	360人
高齢化率(%)	49.7%	
就業人口(人)	第1次産業	56人
	第2次産業	54人
	第3次産業	199人
世帯数(世帯)	総世帯数	373世帯
	高齢単身者	117世帯
行政区数(区)	5区	
学校		
文化財・史跡	竜王宮、日輪碑(切石様)、三日月瀬、魚貫崎榕、大蛇池・遠見岳見張り番所跡、忠魂碑、じゃらの神様(作場神)、ユビの神様、炭鉱遺跡、山の神様、池田の若宮様、魚貫権現社、魚貫住吉神社、福津十五社宮、えびす様、唐干田の生田神社、新山炭田跡神社、里浦の役神社(弥玖神社)	
その他地域資源	魚貫・黒石の夕陽(日本の夕陽百選)、魚貫海岸、黒石海岸、魚貫崎海水浴場、権現山、遠見岳、シャリンバイの丘、まんびき漁、池の祭り、十五社宮の祭り(綱引きなど)	
地域伝統芸能	魚貫住吉神社例祭(塩振り踊り等)、魚貫草刈り唄、魚貫崎の子守唄	
地域づくり団体	区長会、老人会(3地区)、天草市食生活改善推進協議会牛深分会、魚貫地区健康づくり教室、池田イキイキクラブ、魚貫夏祭り実行委員会、魚貫花火大会実行委員会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
自然が豊かである(美しい夕陽や満点の星空など)／冬も温暖で住みやすい／伝統行事や伝統文化を大切にしている／史跡や文化財が多い／人柄が良く人情味がある／元気な高齢者が多い／住民同士のふれあいを大切にしている(あいさつなど)／		
地区が抱える課題・困っていること		
少子高齢化、過疎化が急速に進行している／空家や空地が増加し倒壊の危険性や雑草、害虫が問題化している／災害時対策に不安がある(避難経路など)／協調性や連帯感が不足している／買い物が不便／ゴミ問題(地区外からの釣り客のマナーや海岸漂着ごみ、不法投棄)／荒天時に波が県道の堤防を越えて交通の妨げになっている／振興会役員の世代交代が進んでいない／高齢者の地域イベント(老人会、区の集まり、振興会イベント等)への参加が少ない／地域に対する若い世代の関心が薄い／		



(おにきん夕陽が丘からの風景)

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ	「魚貫に住んでよかった」と思えるまちづくり
考え方	美しい自然環境や景観、地域イベントや伝統などの地域資源を未来に受け継ぎ、誰もが安全で安心できる暮らしの中で、「魚貫に住んでよかった」と思えるまちづくりの実現を目指す。また、年齢に関係なく住民の交流を図れるよう、気軽に地域のイベントに参加できる環境づくりを行いたい。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の史跡や文化財を巡るウォーキングを開催している。 ・地域イベントへの協力やどんどやを開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を学び伝承していくまちづくり ・地域の自然や史跡、名所のPR看板を活用する。 ・地域の伝統文化継承への取り組みを行う。 ・地域資源の情報を積極的に発信する。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで地域みんなが楽しめるイベントを開催している。(牛深ハイヤ祭り、健康づくりミニバレーボール大会、おにきんピック) 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで参加するまちづくり ・多くの町民が参加できる事業を実施する。 ・各団体と協力しながら実施する。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・旧魚貫小学校で子供の居場所づくり「ごんげんタイム」や住民の生きがいつくり「手芸教室」を実施している。 ・公民館講座「市民学級」への協力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で学べるまちづくり ・地域と学校と協力しながら、実施する。 ・老人会と連携して高齢者対象の市民学級を開催し、高齢者同士の交流の場とする。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の長寿を祝うため、敬老会を実施している。 ・75歳以上の独居者へ年1回ちらし寿司を作り配布している。 ・子どもと高齢者の交流のため、地域ふれあい教室、小中学生グラウンドゴルフ大会を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で安心して暮らせるまちづくり ・高齢者の見守り活動を実施する。 ・子どもと高齢者の交流事業を実施する。 ・高齢者同士のふれあいの場を提供する交流事業を実施する。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化活動(雑草・海岸・花いっぱい運動など)を推進している。 ・防犯パトロール、交通安全啓発などを実施している。 ・自主防災組織訓練を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美しい景観と安全で快適なまちづくり ・美しい景観を後世に残すため、環境美事業を実施する。 ・安全な町を目指し、防犯パトロールや交通安全啓発活動などを実施する。 ・災害時に円滑に避難できるように準備や訓練を行う。
【G】 都市基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時に波が県道の堤防を越えるため、交通の妨げになっている箇所がある。 ・災害時対策に不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暮らしやすい機能的なまちづくり ・危険箇所を確認し、要望を行う。 ・避難道や避難場所整備の要望を行う。

魚貫地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
C	牛深ハイヤ祭り	牛深ハイヤ祭り総踊りに地域をあげて参加する。郷土芸能に慣れ親しみ将来に伝承していくことと、市主催行事の牛深ハイヤ祭りに参加することで地域の活性化に貢献することができる。	参加者30名以上					振興会	
B	地域めぐりウォーキング	ガイドを招聘し、地域内の自然や史跡、文化財を歩きながら学ぶ。	参加者20名以上					振興会	
C	健康づくりミニバレーボール大会	地域住民の健康維持と体力づくりを目的に、地区対抗ミニバレーボール大会を行う。	参加者100名以上					振興会	
F	自主防災組織訓練	予防消防と防災意識高揚のため、町内5会場で消防署や地元消防団の協力を得て、地域をあげて消火・避難訓練、炊き出し訓練、避難経路の確認等を行う。	参加者230名以上					協働 (区+振興会)	
E	長寿を敬う敬老祝賀会	満75歳以上の高齢者を対象に長寿を祝う式典を開催する。式典参加者が楽しめるよう地域の子どもや大人がアトラクションを行い年代を超えた交流を行う。	式典参加者100名以上					振興会	
C	おにきんピック	魚貫地域の住民が集まり、体力の向上と親睦を深めるため、運動会及びレクレーションを開催する。	参加者150名以上					振興会	
E	地域ふれあい教室	子ども、保護者、地域と一緒に参加できるスポーツや工作、昔遊びなどを体験した後、郷土料理の食事会を開催して、地域住民同士及び子どもとのふれあいの場を提供する。	参加者50名以上					振興会	
B	どんどや	新年を迎えるにあたり、門松・しめ縄・飾り餅などを持ち寄り、それらを火で焼くことで、無病息災を願う伝統行事「どんどや」を体験する。	参加者120名以上					振興会	
E	まごころ弁当宅配便	天草市社会福祉協議会牛深支所との共催で、満75歳以上の高齢者単身世帯を対象に、手作りのチラシ寿司を宅配し、会員から声掛けを行う。	対象者80名					振興会	
F	環境美化事業	一斉清掃(海岸清掃、除草清掃など)や花の植栽を行い美しい景観を保つ。また、ごみポイ捨て禁止やマナーアップにつながるような看板設置も検討する。	参加者延べ400名以上					協働 (行政+振興会)	
F	見守り・防犯活動	見守り、防犯パトロール、交通安全啓発、交通安全街頭指導の実施。ハイヤっ子ハウスシールの作成に協力する。	年1回以上実施					振興会	
B	伝統文化継承事業	地域の伝統文化継承に向けての取組み(ハイヤ、草刈り唄など)						振興会	
B	広報活動	振興会でを行った事業の報告を兼ねた新聞の発行・回覧。ホームページの更新。	新聞発行 年12回 ホームページ閲覧件数50,000件/年以上					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

魚貫地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
C	地域交流事業	交流をとおして地域活性化や親睦を深める。牛深小、中学生とグラウンドゴルフ交流を行う。	年2回開催	→				振興会	
D	旧魚貫小活用事業	子供の居場所づくり「ごんげんタイム」や住民の生きがいづくり「手芸教室」の開催。	月1回以上開催	→				振興会	
D	高齢者対象市民学級	高齢者同士の学びとふれあいの機会とするため、地区内老人会(3団体)で市民学級を開催する。	老人会(3団体)	→				協働(行政+振興会)	
G	公共施設整備要望事業	県道35号線の堤防を波が越えてきて通行時危険であるため改良の要望を行う。(牛深クリーンセンター～魚貫恵比須様までの区間)避難道や避難場所整備の要望を行う。	区長会と連携し実施	→				行政	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	21.3km ²	
人口(人)	総人口	605人
	15歳未満	20人
	15～64歳	206人
	65歳以上	379人
高齢化率(%)	62.6%	
就業人口(人)	第1次産業	28人
	第2次産業	24人
	第3次産業	141人
世帯数(世帯)	総世帯数	221人
	高齢単身者	54人
行政区数(区)	3区	
学校		
文化財・史跡	<ul style="list-style-type: none"> ・干拓記念碑(建造物) ・姫の河内の木斛(天然記念物) ・小楠先生頌徳碑 ・真珠大菩薩塔(天草真珠発祥の海) ・石神様(史跡) ・小見山七十五郎先生頌徳碑 ・横田良一歌碑 	
その他地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・真珠養殖 ・マンゴー栽培 ・減農・減化学肥料による水稻栽培(エコ米) 	
地域伝統芸能	横田良一祭(天草に伝わる古い唄や踊りを継承し伝統文化の掘り起こしや若者が好む新しい趣向も取り入れた手作りの文化活動が毎年開催)	
地域づくり団体	二浦地区振興会・老人会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>◎四面を緑の山々に囲まれ、桃源郷の豊富な水資源を生活用水、農業用水として利用、また渇水期には他地区に給水するなど多目的に活用している。</p> <p>◎本地区は山有り、川有り、海有り、田んぼ有りの自然立地に恵まれたところです。春には山桜が咲き誇り、5-6月の川にはホタルが舞います。海では釣り、カニの刺し網漁、水田では田植え、稲穂の実り(黄金色)収穫と、四季折々の風情を楽しませてくれます。</p> <p>◎横田良一(本名中道実穂)天草市二浦町出身、(昭和8年[天草小唄]をレコードに吹き込み天草を広く世に紹介、また歌手としてもデビューし約100曲の歌謡曲をレコードに吹き込む。惜しまれながら26歳の若さで世界した悲運の歌手。</p> <p>◎住人の人情が深い</p> <p>◎火災など少なく、事件もなく治安が良い</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らしの世帯が増える中、災害時等の避難体制の認識が薄く危惧される。 ・住民の憩いの場や集いの場が少ない。 ・若者の減少により伝統行事の継承が危ぶまれている。 ・保育所、小学校、中学校の統廃合により地域の活気が薄れている。 ・地域リーダーの高齢化 ・耕作放棄地が増えている。 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	『一人一人が支え助け合い、自然とふれあう活力あるまちづくり』
考え方	人口減少、少子高齢化などの問題を含めた地域の課題を解消するとともに地域の個性を創出していくために、地域住民が相互にコミュニケーションを図り、子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちづくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次産業従事者が減少し、後継者が不足している。 ・耕作放棄地が増加している。 ・今ある耕作地の維持と耕作放棄地の活用が必要である。 	<p>今ある耕作地と耕作放棄地を活用した地域独自の特産品づくりに取り組みむと共に、郷土料理の普及に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●麦づくり・米づくり ●四季折々の名物づくり ●郷土料理づくり ●干し大根 ●亀浦・早浦湾の瀬牡蠣の活用
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然を、観光素材としてどう生かしていくかが課題。 ・地域に残る史跡、文化財の活用ができるよう整備が必要である。 ・地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者の育成が必要である。 	<p>地域の恵まれた自然環境をいつまでも後世に継承すると共に、観光素材として活用するため、伝統文化の継承、環境整備等の取り組みを推進し、牛深まちづくり協議会を始め他団体と協力しながら各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の伝統文化の継承と活用(横田良一、虫追い祭り、秋祭り、石神祭等)
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダーが高齢化している。 ・若者の行事等への参加が少ない。 ・少子高齢化が進み、イベントへの参加が少なくなってきた。 ・子どもたちと地域住民との交流の場づくりが必要である。 	<p>少子高齢化社会が進む中、現役の若者と高齢世代がともに意欲と知恵を出し合いながらお互いが支え合い、助け合いのもとに活力ある地域づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域住民の絆を深める ●各種イベントの開催(どんど焼き)
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダーが高齢化していることから、次世代の育成が急がれる。 ・各種講座の周知が老人会などの一部だけにしか行われていない。 	<p>公民館活動、自主学級等を通じ、住民の教養の向上、地域リーダーの育成を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習の推進(自主学級・公民館活動) ●住民全体への周知の徹底
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が増加している。 	<p>地域住民が集える場づくりや高齢で引きこもりがちな一人暮らしのお年寄りの方々の話し合う機会等を提供し、いつまでも健康で毎日を安心して暮らせる環境づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グランドゴルフ大会 ●敬老会 ●いきいきウォーキング ●スポレク祭●地域での見守り、声かけ運動の推進
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が増える中、災害時等の避難体制の認識が薄い。 	<p>少子高齢化社会が進む中、現役の若者と高齢世代がともに意欲と知恵を出し合いながらお互いが支え合い、助け合いのもとに、地域の方が安心して生活できる環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災訓練(自主防災組織の育成) ●環境美化活動の取り組み ●子ども見守り事業(ハイヤッコハウス)

二浦地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	郷土料理作り	どんど焼きと併せて郷土料理作りを実施	年1回の実施					振興会	
C	どんど焼き	無病息災を祈願しどんど焼きを実施	年1回の実施					振興会	
E	二浦町敬老会	満75歳以上の高齢者対象	年1回の実施					行政区 + 振興会	
E	いきいきウォーキング	正しい歩き方を学び、ウォーキングを楽しみながらストレス解消、健康増進さらに、参加者相互のコミュニケーションを図る	年1回の実施					振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	児童と老人会が参加しふれあいと健康増進を図るためのグラウンドゴルフ大会を実施	年1回の実施					振興会	
E	二浦町スポレク祭	地域住民の交流を目的に平成18年から行われていた校区民運動会を小学校の閉校により名称をスポレク祭として実施。地区住民はじめ介護施設からの参加、ニュースポーツを取り入れ交流	年1回の実施					振興会	
F	子ども見守り事業	子どもが危険の場面に遭遇したときにいつでも避難し、助けを求められるように、児童避難場所「ハイヤっ子ハウス」シール購入	シールの製作及び配布を実施					振興会	
F	天草市一斉避難訓練	天草市一斉避難訓練に併せた自主防災訓練	年1回の実施					行政区 + 振興会	
F	道路等清掃事業	市道等の草刈り作業実施	年1回以上の実施					振興会	
F	緑化整備事業	環境美化と花の魅力を知ってもらう目的で道路沿線に地域住民の協力によって花の植え付けを実施	年1回以上の実施					振興会	
F	一斉清掃作業	1月に二浦町内、向辺田地区の一斉清掃実施	年1回の実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

二浦地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
E	友愛弁当作り	単身世帯の高齢者へ手作り弁当を配布	年1回の実施					社協 + 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。